

# 大学院特別講義

「豊富な資源を活用するサステイナブル有機合成」

浅子壮美 先生 (理化学研究所 環境資源科学研究センター 上級研究員)

「生命現象を有機化学の目で見ると：海洋動物アメフラシが生産する抗腫瘍性有機化合物の生物有機化学」

木越英夫 先生 (筑波大学数理物質系 教授)

12月3日 (金) 14時40分より

3号館 3403教室およびZoomによる同時配信

(ミーティングID: 846 3402 4642 ; パスコード: 907577)

浅子壮美先生は有機金属化学を専門とされている新進気鋭の若手研究者です。最近ではナトリウムを安全に取り扱えるsodium dispersionを活用した有機ナトリウム化合物の簡便な調製法の開発とその触媒的クロスカップリング反応への応用など、実用性の高い反応を報告しています。

木越英夫先生は天然物化学を専門とされており、天然物の単離、合成、そしてケミカルバイオロジー研究と天然物化学を総合的なサイエンスと捉えて幅広く研究を展開されています。最近では海洋産抗腫瘍活性物質アプリロニンAの標的タンパク質を同定し、アプリロニンAと2つの標的タンパク質のユニークなドッキングモデルを提案されました。

今回の大学院特別講義の機会に両先生に來学していただき、講演会を開催することになりました。大学院生、教員のみならず、多くの学部生の参加をお待ちしています。

世話人：化学科 早川一郎